

情報デザイン



情報デザイン (information design) とは

人間とモノや環境との関係性にかたちを与える方法論、生活の中にあふれる情報をわかりやすく提示する手法や考え方で、日常的にあるポスター、交通標識、生活用品、ホームページなどさまざまな場面に応用される。

情報デザイン

I: インタラクション・インターフェースの視点

ヒト・モノや環境の関係性から道具などの
分かりやすさのインターフェースなど



II: コミュニケーションの視点

情報を簡潔かつ適切に伝える



情報デザイン

情報の視覚化

時間軸変形地図

①抽象化

本質的な情報を取り出す

②可視化

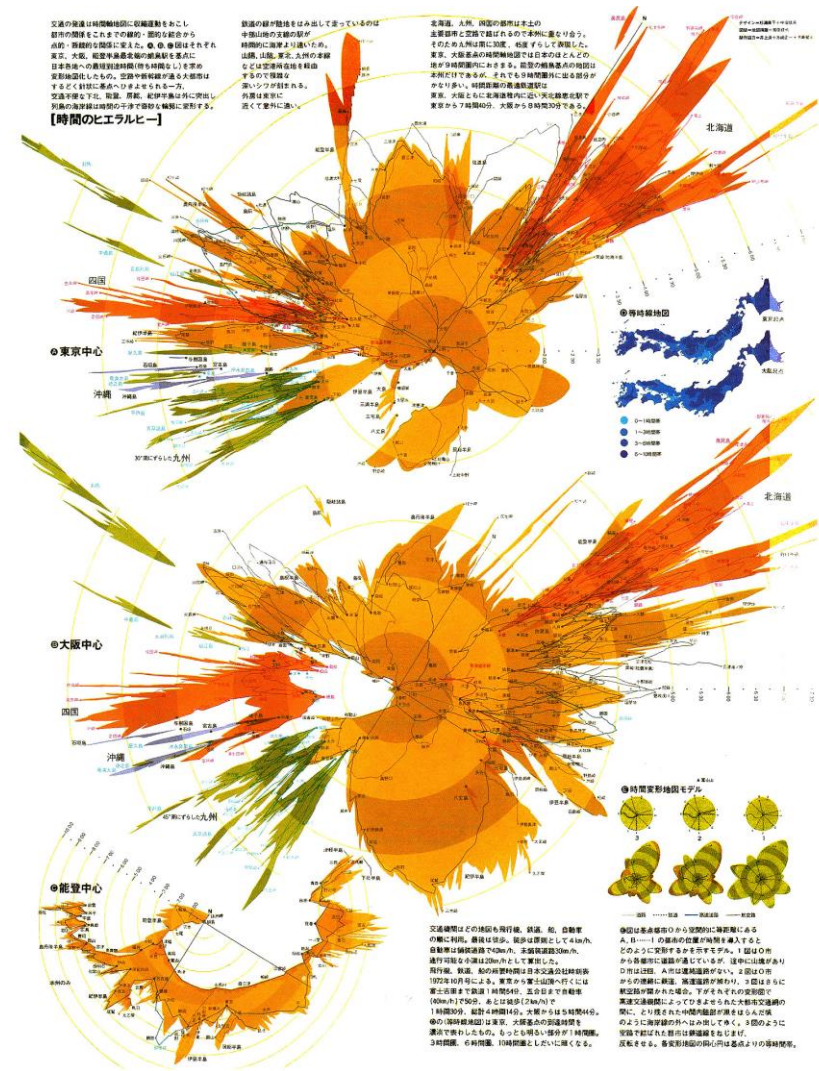
数値や文字データを表やグラフを用いて表現する

③構造化

情報の関係性や順序などを分かりやすく表現する

1970年代、日本列島を対象に出発点・・・多くの場合、JR駅(当時国鉄) (上は東京駅, 下は大阪駅)を中心にして同心円状にひろがる等時間帯の上に、目的地への到達時間を算出して、それぞれの方位の延長線上に配置した「時間軸変形地図」である

杉浦康平氏作成



情報デザイン 情報の視覚化

①抽象化 ②可視化 ③構造化

空間軸変形地図



日本列島をヨーロッパ側からみると



日本列島をロシア側からみると

情報デザイン 情報の視覚化の歴史

・アイソタイプ

オーストリアのオットー・ノイラートらが開発した視覚記号

・ピクトグラム



情報デザイン 情報の視覚化の歴史

・インフォグラフィック

JR路線図



情報デザイン実習

実習1:ピクトグラム作成(ペイントで)

- (1) 右のJリーグのマークを作る
- (2) オリジナルマーク(部活、自己の趣味、住居地など)



情報デザイン

・バリアフリー(barrier free)とは

障がい者や高齢者などが、社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障害や精神的な障壁を取り除くための施策や具体的に障害を取り除いた事物および状態のこと。



情報デザイン

ユニバーサルデザイン(UD)とは

文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、出来るだけ多くの人が利用できることを目指した建築、製品や情報などのデザインのことであり、またそれを実現するためのプロセスのこと。

内装色

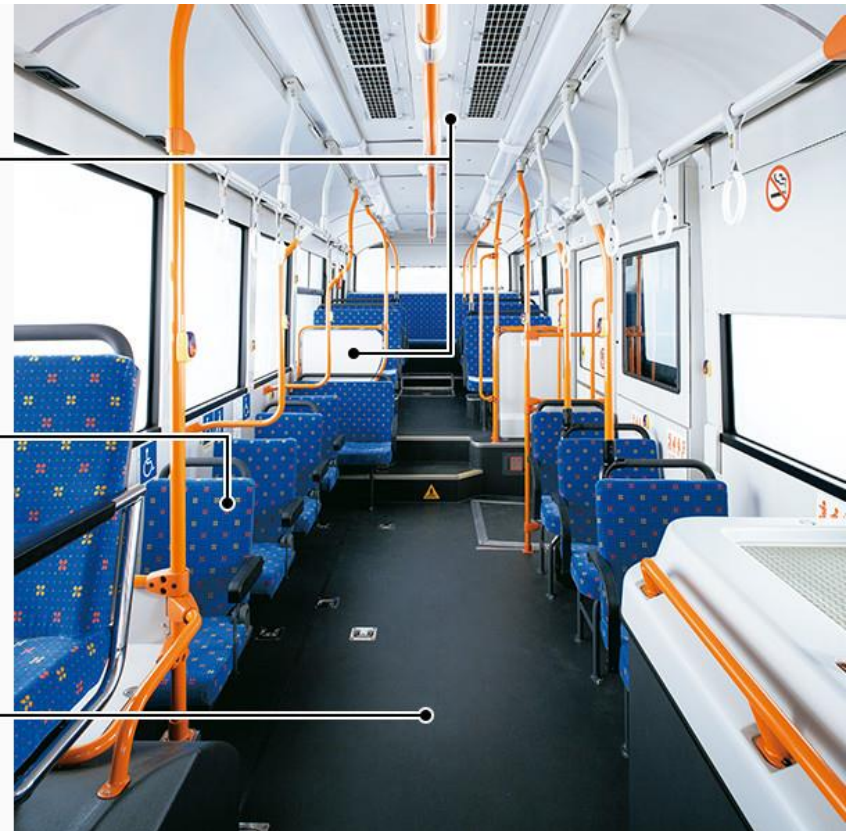
ノンステップ認定仕様に
準拠した天井・腰板・仕切。

シートマテリアル

ノンステップ認定仕様に
準拠した明度で、青基調
の下記生地を用意。

床材

滑りにくいノンスリップ
タイプを用意。



情報デザイン ユニバーサルデザインとは

・ユニバーサルデザインの7原則

1. 公平に使えること(Equitable use)
2. 高い自由度で使えること(Flexibility in use)
3. 使い方が簡単ですぐにわかること(Simple and intuitive use)
4. 必要な情報がすぐ認識できること(Perceptible information)
5. 誤った使い方が危険につながらないこと(Tolerance for error)
6. 身体への負担が小さいこと(Low physical effort)
7. 接近・利用のための十分な大きさ・空間を確保すること

(Size and space for approach and use)

ロナルド・メイス

(ノースカロライナ州立大学ユニバーサルデザインセンター所長) 提唱

情報デザイン ユーザビリティとアクセシビリティ

・ユーザビリティ

ある製品が、利用者によって指定された利用の状況下で、その目的を達成するために用いられる際の、有効さ、効率および利用者の満足度の度合いのこと。

・アクセシビリティ

障がい者や高齢者などが他の人と同じように物理的環境、輸送手段、情報通信及びその他の施設・サービスを利用できること。

情報デザイン実習

宿題:ピクトグラム作成(例:EXCELで)

オリジナルマーク(部活、自己の趣味、住居地など)

Moodleへ提出

実習2:ユニバーサルデザインとユーザビリティ

- (1) 学院HPを7原則に従って評価する
- (2) 優れていると思われるHPを探す